



- ①ヨーロッパで見られた部分日食の写真。(全然眩しくて分からなかったです)
- ②学校の裏側にある桜?のある庭で撮った写真。
- ③フランスでのエイプリルフール、Poisson d'avril(直訳は4月の魚)の時の写真。背中に魚を模した紙を貼り付けるという風習があるそう。魚である理由は様々なので是非調べてみてください。
- ④少し遠い街にいるAFSの友達の家にお泊まりに行った時にとったツーショット。
- ⑤王家の象徴とされる、百合の花のマークの写真です。

気温も上がり、すっかり冬から春になりました。花粉の影響でくしゃみをする回数が増えています。フランスではくしゃみをした人に「À tes souhaits !」と言う風習があり、直訳では「あなたの願いに。」という意味です。最近の課題として、日本語で話す時のように会話の維持をすることが上手くできないことです。しかし、9月に到着した頃と今を比べると、語学面においても、精神面においても大きな成長を感じています。5月に言語力を測る指標(CEFR)のB1レベル(中級レベル)のテストを受けます。100点満点中、50点以上あればいいそうなのですが、80点以上を目指して頑張っ勉強をしたいと思います。

～学校での過ごし方について～

フランスでは、基本的に高校は8時に始まり18時に終わります。しかし、これは人によって、日によっても変わるので日本のように毎日同じ時間という訳ではありません。(例として水曜日は午前のみ、僕は木金は9時、10時始まり...) Vol.1で話しましたが、専攻があるため、授業によってクラスメイトが変わります。それによって新しい友達を作れるのでいい制度だと思います。通常は1つの授業は2時間あり、1時間したら5分くらいの短い休憩があります。2時間ごとに15分の長めの休憩があり、お昼休憩は約1時間半あります。休憩中はスマホを触ることは可能ですが、授業中は許可がない限りは一切禁止です。僕は留学生というのもあり、初めの頃は翻訳をするために使わせてもらっていました。お昼ご飯は学校にある食堂で食べます。全校生徒が約1100人ほど、教師が100人近くいるため、食堂はすごく混みます。直前に授業が無い際には5分程度並ぶだけで済みますが、直前に授業がある場合だと、30分以上待つことがあります。僕は基本的に友達と食べていますが、あまり並びたくないため、1時間ほど時間を置いてから食べに行くことが多いです。

放課後は終わる時間が遅いため、友達とどこか遊びに行くということはありません。僕の住んでいる街は無料のバスが通っており、車通りが多いため、基本的な移動手段はバスor徒歩になります。そのため、日本のように自転車に乗ってどこかに行ったりということは難しいと思います。普段はバスで家に帰って、ピアノを弾いたり勉強をしたりしています。

～教育制度などについて～

フランスは高校までが義務教育なので、高校に偏差値という概念がありません。そのため、勉強をしている子はしっかりやっているし、やっていない子はほとんどやっていません。こちらではテストは20点満点であり、全てのテストの平均点を成績の基準としています。基本的には13点くらいがクラス平均で、15点を超えてくると賢いというふうでしょうか。日本の定期テストのように大きなテストが年に2、3回ありますが、基本的には単元毎に担当教科の先生がテストを作って行うという形になっています。

フランスではÉcole primaire(小学校)が5年間、Collège(中学校)が4年間、Lycée(高校)が3年間となっています。小学校はよく分かりませんが、学年の数え方は、中学校から6e、5e、4e、3eとどんどん上がっていき、2e、1er、最後にterminaleという形です。

大学入試のテスト(Baccalauréat)では、最高峰の大学以外は20点満点で10点以上取れば行けるそうで、高校の最後の2年間(1erとterminale)の平均点も採点に含まれるのだとか。